

## 意見の対応状況

番号	項目	意見	対応
1	大分県の入院医療費の分析 (第2回)	大分県の入院医療費が高い要因を医療施設等の状況に求めるのではなく、疾病等から分析すること	公表されている統計資料や国から提供される医療費のデータセットを活用して、全国における大分県の疾病別医療費状況を整理して記載する。 (素案 9～10ページ) ※今後さらに追加予定
2	子どもの頃からの健康づくり (第2回)	生活習慣病予防として、子どもの頃からの健康教育が重要である。大分県は虫歯対策としてのフッ化物洗口や禁煙教育の取組が遅れているのでしっかりやってもらいたい	「子どもの頃からの健康づくりの推進」を施策として項目建てするとともに、その取組を記載する。(素案 13、18ページ)
3	予防接種 (第2回)	対象となる予防接種の種類を明記すること	定期接種のうち、対象となる予防接種の種類について具体的に記載する。 ※A類疾病:ジフテリア、百日せき、ポリオ、麻しん、風しんほか (素案 14ページ)
4	たばこ対策 (第2回)	受動喫煙の目標値を設定してはどうか	たばこの煙で不快な思いをする方の割合の減少(受動喫煙の機会を有する者の割合の低下)を目標として掲げることとする。(具体的な数値については今後検討)(素案 13ページ)
5	医療機関等との連携 地域包括ケアの推進 (第3回)	在宅医療、訪問看護ステーションの充実が大事だが、看護師が足りていない。人材育成について施策を考えるべきではないか	現在改定作業中の「大分県医療計画」中の「第5章 地域医療を支える人材の確保と資質の向上」との整合を図り必要な内容を加筆する。
6	地域包括ケアの推進 (第3回)	病院から在宅医療への転換を進める際、デイサービスやショートステイなど介護サービスの充実が大事だ	現在改定作業中の「大分県医療計画」中の「第8章 保健・医療・福祉(介護)の総合的な取組の推進」及び「おおいた高齢者いきいきプラン(第7期)」との整合を図り必要な内容を加筆する。
7	歯と口の健康づくりの推進 (第3回)	子どものむし歯率全国ワースト2位を脱却するために、フッ化物洗口などの取組を強化すべき	現在改定作業中の「生涯健康県おおいた21」中の「第6章 歯・口腔の健康分野」との整合を図り必要な内容を加筆する。
8	計画策定の趣旨 (第3回)	医療費適正化をうたう以前に、国民皆保険の意義を改めて記載すべきではないか	「第1章 計画の策定にあたって」にコラムとして加筆する。